

南極観測将来計画検討WG報告

・第1回極地雪氷分科会将来検討情報交換会

日時：2008年1月18日（金）10:00～12:15

場所：国立極地研究所講義室（2F）

出席者：本山・川村（極地研気水圏）、三浦（極地研地圏）、松岡（ワシントン大学）、
亀田（北見工大）

2008年2月8日に雪氷メーリングリスト(announce, talk)に議事メモを投稿

雪氷学会極地雪氷分科会の皆様

昨年富山で開催された極地雪氷分科会総会にて将来検討委員会を立ち上げるということが決まりました。その準備会を1月18日に極地研にて有志をあつめて開催しました。以下にその議事録を載せます。南極観測体制については新観測船就航をきっかけに、新たな開かれた観測隊にするチャンスということで、極地研を中心に大幅な見直しが進んでいます。皆様に流せる情報は、随時流したいと思っています。今後とも、南極観測へ関心を持っていただけるよう、活動したいと思っています。

・新たな南極地域観測事業のあり方 —新観測船時代のビジョン—

平成20年5月 国立極地研究所

http://www.seppyo.org/~polar/activity/2008/shinsedai_houkoku2008.pdf

・南極地域観測第Ⅷ期（平成22年度～27年度）重点研究観測に向けての研究観測計画提案の公募（平成20年6月16日締め切り）

・第2回 南極研究観測シンポジウム

平成20年6月26日（木）9:50 - 18:40 国立極地研究所6F講堂

プログラム <http://polaris.nipr.ac.jp/~pmg/jaresympo/program.pdf>

（11月から12月にかけて一般研究観測、萌芽研究観測の公募が行われる予定）

・今後の南極観測

現在49次隊が越冬中（牛尾収輝越冬隊長）

50次隊はオーストラリアの観測船「オーロラ・オーストラリス」をチャーター

12月下旬、空路でオーストラリアへ。1月中旬に「昭和基地」近くの氷縁着。2週間の予定でヘリ3機を使って昭和基地に物資輸送、夏作業、引き継ぎして越冬交代。

51次隊は新しい観測船「しらせ」の処女航海。11月10日に日本出航予定。雪氷関連としては、ドームふじへの内陸旅行が計画されており、深層コアの持ち帰りとフィルンエアーサンプリングを行う予定。

52次以降は第Ⅷ期南極観測。